

“システム予防医学”の創生・開拓 – 伊藤守弘研究室

大学院生(博士、修士)を募集しています

出身大学や出身学部を問わず、幅広い人材(の卵)を歓迎します！分野もキャラクターも多彩で楽しい仲間達が集まっている研究室です。



当研究室では、基礎医学を基盤とした“予防医学”に関わる研究を行っています。具体的には、生活習慣や身体生理学的な分野、微生物・感染症学、メディカルチェック、スポーツ科学、リハビリテーション、公衆衛生、救急医学や死後画像診断まで、幅広い研究を行っています。これらの分野は、一見かけ離れているようにみえますが、実は多くの点で関連しています。

さらに、それぞれの分野の成果をもう一方の分野に活用することにより、研究をダイナミックに展開し、様々な分野を融合させた、「システム予防医学（造語）」という新しい学際融合研究の創生・開拓を目指しています。我々が目指すシステム予防医学では、「予防医学をシステム（総体）として理解する」ことを目的とした学問の創生を進めています。これは、既存の予防医学の公約数ではなく、予防医学に関するこれまでの英知と新しい発見の公倍数となるような、学際的な研究分野の開拓です。

我々は、“予防医学”に関する様々な側面を多角的かつ統合的に理解することにより、生命科学を基礎とする医学・保健衛生学の複合領域として先端の科学的根拠に基づく「生命健康（＝予防）」のための新しい方策を追求しています。



「生命健康（＝予防）」に軸足を置いて保健・医療関係の業務を牽引できる、または、その学問を次世代に継承し一層発展させる人材を育成したいと考えています。「自分に付加価値をつけたい」「社会や臨床で活躍したい」「教育・研究者になりたい」など、一人ひとりの希望や適性に応じた指導を心がけます。

現在、様々な研究課題に取り組んでおり、その研究成果は、論文という形で世界に発信します。そのための研究指導はしっかり行います。手技の指導に加え、研究の指導（進行）方法には自信があります。具体的には5つに分けることができ、①One-on-one Meeting、②Progress Seminar、③Journal Club、④異分野研究交流（茶弁会）、⑤Authorship Meetingです。これらを複合させ、予防医学につながる課題解明に取り組む人材の育成を目指します。これまでの研究分野や職種は全く問いません。熱意のある方、ぜひ、一緒に予防医学を研究しましょう。現役大学（院）生に限らず、社会人の方も大歓迎です。授業の夜間開講や夕方からの研究指導など、中部大学は社会人大学院生を応援し、支援します。

興味のある方、迷っている方、気軽に伊藤<m-ito[at]fsc.chubu.ac.jp>までメールをお願いします。面談・研究室見学も随時受け付けています。

当研究科の修了要件を充足した者が得られる学位は、以下の通りです。
博士前期課程: **修士(生命医科学)**、博士後期課程: **博士(生命医科学)**



CHUBU UNIVERSITY
College of Life and Health Sciences
Team M., Ito. The Biomedical Science Laboratory.

中部大学 生命健康科学部 伊藤守弘研究室

